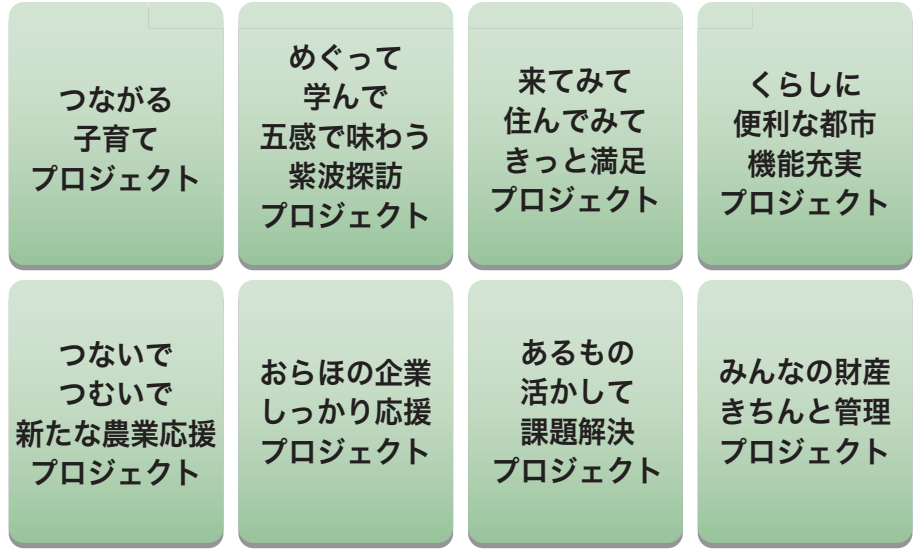


## 4つの基本目標

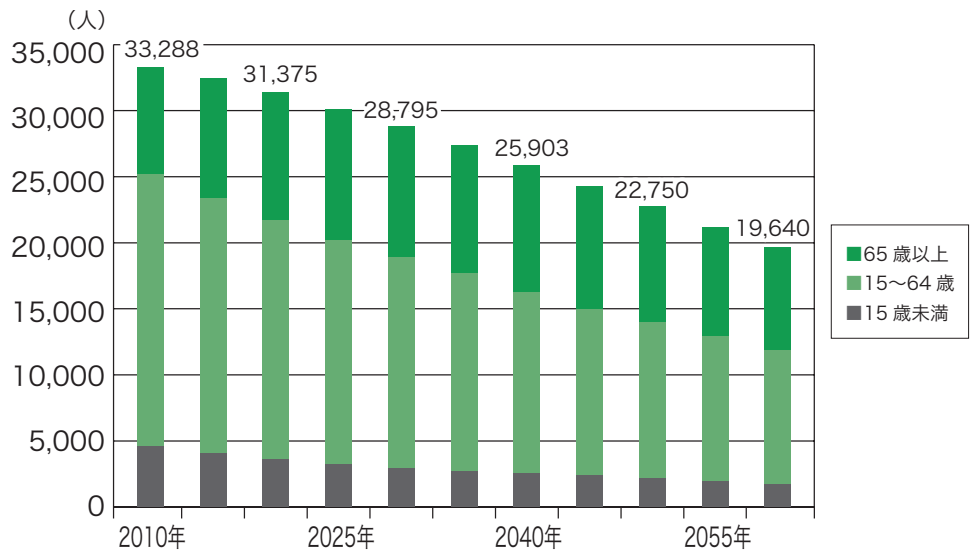
- ローカル経済でしごとが生まれる
- 子育て支援・教育の充実で若い世代の安心が生まれる
- 女性・若者に選ばれて新しいひととの流れが生まれる
- 民の活力が湧き上がり時代に合った地域が生まれる

## 8つの連携プロジェクト



人口減少の打開策を

まち・ひと・しごと創生



【紫波町の将来の人口推計】

国立社会保障・人口問題研究所による推計を基に算出

上の図は平成25年3月に推計されたデータを基に2060年までの町の人口の推移を算出したものです。

まち・ひと・しごと創生総合戦略は政策ごとの連携や地域ごとの連携を図ることで人口減少を緩やかにし、2060年に人口2万7千人程度を確保しようとするものです。

# 総合戦略について協議

## 特別委員会でこんな提言をしました



作山秀一 委員

プロジェクトの推進にあたっては、予算措置を確かなものとし、速やかな実行を求める。



戸塚美穂 委員

子育て支援や雇用の創出など、若者の活躍に特化した戦略に見受けられる。高齢者の生きがいに関する項目も検討してほしい。



熊谷育子 委員

戦略全体のビジョンを町民全体で共有し、目標の実現に一步でも近づける努力を求める。



及川ひとみ 委員

町の人口推計をみると、特に東西の人口減少が著しい。これを少しでも緩やかなものにするため、基幹産業である農林業振興を強化してほしい。

総合戦略は、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」や、「岩手県ふるさと振興総合戦略」を勘案し、町の人口ビジョンを踏まえ、今後5カ年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものです。町の取り組みは、民間の知恵が最大限生かされた公民連携によるまちづくりを基本

にしています。議会では、地方創生に関する調査特別委員会を設置し、総合戦略について27年11月から調査を行いました。28年2月に策定・公表が行われましたが、戦略の進め方について、今後も調査を続けていきます。

## 私もひとこと



日詰地区  
原田恵子さん

も住んでみたくないのでないでしょうか。

これら4つの基本目標が実現できたら素敵なことですが、そのためには人材確保が大きな課題だと思います。この町を良くしたいという志の人達から和が広がり、一人一人が誇らしいと思える町（働ける場所もぜひ）になれば、子供たちが大人になっても住みたい町になると思います。そんな魅力的な町には、自然と他の人も住んでみたくないのでないでしょうか。